

予 算 要 求 資 料

令和3年度9月補正予算 支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 新 貸出施設オンライン環境整備事業費
--

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

岐阜県図書館 管理調整係 電話番号：058-275-5111 (内 291)

E-mail：c21803@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 補正要求額 5,059 千円 (現計予算額 0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その 他	県 債	一般 財源
現 計 予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
補 正 要求額	5,059	0	0	0	0	0	0	0	5,059
決定額	5,059	5,059	0	0	0	0	0	0	0

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、貸出施設におけるリモート会議や動画配信等を活用した行事を希望する利用者が増えているが、現状では希望に応えられるだけの環境が整備されていない。

コロナ禍を契機としたオンライン化やリモートサービスの活用・定着が進み始めている中、貸出施設においても新しい生活様式への対応が求められているため、安心安全かつ快適な通信環境の整備が必要である。

(2) 事業内容

貸出施設のオンライン環境整備の実施

貸出施設におけるリモート会議やライブ中継等を円滑に行うため、光回線通信網を館内に引き込み、各貸出施設毎にWi-Fiアクセスポイントを設置する。

(3) 県負担・補助率の考え方

県が設置運営する施設であるため県の経費負担は妥当

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	(千円)	事業内容の詳細
役務費	149	初期工事費 28 千円、通信料 121 千円
工事請負費	4,910	Wi-Fi 環境設備設置工事費
合計	5,059	

決定額の考え方

財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を充当します。

4 参考事項

(1) 事業主体及びその妥当性

利用者の「新しい生活様式」への対応とともにアフターコロナを見据えた文化活動等の活性化に繋げていくため、県の関与が妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input checked="" type="checkbox"/>	新規要求事業
<input type="checkbox"/>	継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 岐阜県図書館貸出施設に通信環境を整備し、利用者の利便性確保ならびに文化活動等の発展を支援する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(R)	(R)	(R)	(R)	(R)	%

○指標を設定することができない場合の理由

貸出施設利用者の利便性確保に必要な通信環境の整備のため、指標は設定できない。

（前年度の取組）

（前年度の成果）

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	利用者の「新しい生活様式」への対応とともにアフターコロナを見据えた文化活動等の活性化に繋げていくため、県の関与が妥当である。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価)	
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価)	

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 貸出施設毎にアクセスポイントを設置するため、安全に通信環境を提供できるよう、職員が事務室から適切な集中管理をする必要がある。 また、今後さらなる通信技術の発展が確実であり、利用者のニーズの変化や技術革新に合わせたプランの見直しやセキュリティ対策が必要となる。

(次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか オンラインを活用した文化活動等を実施できる環境を継続して提供する。
